

国語科学習指導略案

6年2組 33名 指導者 野里 賢志

今回の授業で、検証したいことについて述べます。

「三角ロジック」を使って、事実、理由付けを読むことは、筆者の主張を読むための手立てとして有効であったか。

1 単元 筆者の意図をとらえ、自分の考えを発表しよう（教材名「時計の時間と心の時間」）

2 指導計画（総時数8時間） ○重点化する「全ての学習の基盤となる資質・能力」

過程	主な学習活動【評価規準】	時間	基盤となる資質・能力					
			言	情	問	実	協	振
課題をつかむ	1 単元名から学習内容を想起したり、教材が二つあるのはなぜかを話し合ったりすることで、単元の学習課題や計画を設定する。 筆者の意図を捉え、自分の考えをもつには、どのように読めばよいだろうか。	1	○		○			
	2 第一教材「笑うから楽しい」を読み、文章の構成や筆者の主張、事実、理由付けを捉え、自分の意見をもつ。 【態：自分の考えをもちながら文章を読んでいくことに意欲的に取り組もうとしている。】	2	○		○			
情報情報をもとに考える	3 「三角ロジック」を用いて、第二教材「時計の時間と心の時間」を読んで文章の構成を捉え、筆者の主張が何なのかを考える。	1	○	○				
	4 「心の時間」の事例を確かめながら筆者の考え（事実を基にどのように理由付けしたのか）を捉える。	1	○	○			○	
	5 筆者の主張は、「心の時間」についてだけなのかを吟味し、「時計の時間」の事実、理由付けを押さえ、筆者の主張を捉え直す。（本時） 【思：筆者が考える事実や理由付けを捉えている。】 【知：筆者がどのような構成で考えを述べているのかを理解している。】	1 (本)	○	○				○
主体的に表現する	6 「三角ロジック」を活用して、筆者の主張に対する自分の考えをまとめる。 【思：自分の主張と事実・理由付けを区別しながら、文章をまとめる。】	1	○	○		○		
	7 グループ内で意見を交流し、単元で学んだことを振り返る。 ○ 筆者の意図を捉えるには、主張、事実、理由付けを関連付けて読めばよい。 ○ 自分の考えをもつには、自分の知っていることや体験したことなどと関連付ければよい。 【思：考えを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりしている。】 【態：「三角ロジック」を活用すれば、自分の考えを書くときにも説得力が出てくることに気付く。】	1	○		○			○

6 本時（5／7）

(1) 目標

「時計の時間」の必要性に焦点を当て、「時計の時間」の事実や理由付けを読むことで、筆者の主張を捉えることができるようにする。

(2) 評価規準

主張を裏付ける事実や理由付けを読み分けることで、筆者の主張を捉えている。

【思考力・判断力・表現力等】

(3) 指導に当たって

ア 主体的な学びの視点

単元を通して、三つの視点で振り返らせることで、子供が学んだことを自覚したり次時の学習につなげたりして、実生活や実社会の中で生かすことができるようにする。

イ 対話的な学びの視点

個人で学んだことをグループで交流する場面を設定し、学んだことを説明したり分からな

ったことを質問したりして、互いの読みを更に深めることができるようにする。また、「三角ロジック」を用いて、主張を捉え、事実から主張に至った考え方である理由付けを読ませることで、教材文を論理的に理解したり、自分の読みを論理的に説明したりできるようにする。

ウ 深い学びの視点

「時計の時間」の事実、理由付けにしばって「三角ロジック」を完成させ、「心の時間」とつなげることで、どちらも大切だという主張を捉えることができるようにする。

(4) 本時の展開

[] 子供の意識 ○ 指導の手立て ※評価規準

過程	時間	主な学習活動	指導の手立て
つかむ・見通す	5	1 前時までの学習を振り返る。 (心時間が大事なのかな。) (時計の時間は述べていないのかな。) 2 本時のめあてを確認する。 筆者の主張を読むためには、どのように読めばよいただろうか。 3 教師の補説を聞き、学習の進め方に見通しをもつ。 (時計の時間について書かれていないかももう一度読もう。) (事実と理由付けに注目しよう。) 	○ 前時に考えた主張では、「時計の時間」について書かれていないことに気付かせ、「時計の時間」について読めば主張が分かりそうだという予測を立てることができるようにする。 ○ 時計の時間に関する事実や理由付けを整理する視点を与えることで、本時の見通しを立てることができるようにする。
調べる	35	4 教材に書かれた事実と理由付けを基に、筆者の主張を捉え直す。 (1) 一人で検討する。【10分】 (時計の時間も生活に使われている。) (私たちにとって不可欠なようだ。) (2) グループで検討する。【10分】 (時計の時間についても事実と理由付けが書かれているね。) (時計の時間も大切だと言っていない。) (心の時間だけではなさそうだね。) (3) 全体で検討する。【10分】 (筆者は、心の時間と時計の時間のどちらも大切だということを伝えたいようだ。だから、題名が時計の時間と心の時間と並列で書かれているのだと思う。) (4) 一人で「三角ロジック」を完成させる。【5分】	○ 書かれている事実とそれを裏付ける理由付けを見付けるために、文章の主語は何かを注目することができるようにする。 ○ 時計の時間について、事実と理由付けを整理させていくことで、筆者の主張を捉えることができるようにする。 (協) グループでの話し合いを取り入れることで、自分の考えに新たな考えを付け足すことができるようにする。 ※ 時計の時間の事実や理由付けを読むことで、筆者の主張を捉えている。(発言・ワークシート) 【思考力・判断力・表現力等】 ○ 文字数の目安を与えて簡潔にまとめることができるようにする。
まとめる・生かす	5	5 本時の学習の振り返りをする。 (内) 主張、事実、理由付けを関連付けたら読むできた。 (活) グループや全体で検討することで、新たな考えに気付けた。 (次) 筆者の主張に対して、自分がどう思い、時間についてどのように考えるかを書けるようにしよう。	○ 「学習内容」「学習活動」「次時への意欲や見通し」の三つの視点から本時の学びを自覚化し、次の学びへの意欲を高めることができるようにする。 ○ 学習計画表を確認して、次時の学びへの見通しをもつことができるようにする。